

パソコン室から 不定期 発行

No.19 平成19年6月11日 情報教育アドバイザー 広田 さち子

## 選択(2)

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より

## 効率の良い文字列の選択、置き換え入力

「名前を付けて選択」など、ダイアログボックスで何か文字を入力するとき、あらかじめ表示されている文字列を、新しい名前に書きかえることがあります。

表示されたウィンドウの中の目的のフィールド(文字入力する欄)を見ると、すでに何か文字があって、反転表示されていることがあります。また、マウスでクリックしただけで、反転表示なることがあります。

ワープロで文字をドラッグして反転表示したのと同じですね。文字列の「選択」です。

インターネット(Internet Explorer など)のアドレス欄でも、こうなります。

こうなったとき、実は、書かれている文字を消す必要は全くありません。

いきなり新規に文字を入力していいのです。

反転表示になっている所は、新しく文字を入力すると、その文字列と置き換わるようになってい ます。

よく行われるのが、反転表示のどこかをクリックして反転をもとに戻し、さらにその文字列の後 ろをクリックし直し、Backspaceキーで文字を消す、という操作です。このやり方は、いくつか効率 の悪い点があります。

まず、反転表示されていれば、消す必要はありません。上に書いたように、新規に入力した文 字と自動的に置き換わります。

次に、文字入力カーソルを動かすのは、マウスでなくても、キーボードの矢印キーでできます。 このとき、矢印キーではなく、Endキーを使えば、一気に最後にいくことができます。(Homeキーな ら先頭)

そして、消すのはBackspaceキーだけではありません。Backspaceキーは、「消しながらく戻る >」ボタンで、「消す」のはDeleteキーです。Backspaceキーは、文字入力カーソルの前にある字 を消しながら、カーソル位置が前にずれていきます。Deleteキーは、文字入力カーソルの後ろの 文字を消して、その後ろの文字を詰めます。カーソル位置は変わりません。文字を消したいとき は、カーソル位置を確認して、Backspaceキーと、Deleteキーを使い分けます。

画面をよく見て、そこで何が表現されているかを見つけられると、少ない操作で思い通りの作 業ができてきます。少しずつ、画面の表示や使うキーの意味を覚えて、効率よく作業を進めましょ う。